

# 7月号 農山村ネットだより

発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク

代表 山本 薫久

豊田市杉本町三斗成 1-3

旧杉本保育園を活用する会農山村交流・中継センター

tel・fax 0565-68-1113

セカンドスクール受入研修会に参加しましょう

7月19日（火）午後6時30分から8時45分

杉ん子の里（農山村交流・中継センター）

旧「杉本保育園」 豊田市杉本町三斗成1-3 電話 0565-68-1113

元 古瀬間小学校校長 現在 公立学校 学校カウンセラー  
臨床心理士 近藤憲司先生が語る

## 「農山村体験で子どもが変わる」

平成21年度、セカンドスクールに来ていただいた古瀬間小学校の近藤憲司校長先生。農山村体験こそが今の子どもたちに必要だという信念をもってセカンドスクールに参加され、子どもたちへの愛情のこもった「まなざし」や「ふれあい」はとても印象に残っています。そして、受入側の私たちへも温かい励ましと助言をあたえていただきました。

昨年定年退職後は、愛知県公立学校スクールカウンセラー（臨床心理士）として活躍されています。

受入農家さんインストラクターさんはもちろん、ご協力していただける会員さん、機会があれば交流事業に参加しようとされる方の学習の場として、どなたでもよい機会ですので是非ご参加ください。

## セカンドスクール参加校、決まる！9月20日（火）・9月21日（水）・9月22日（木）

小学校5年生の子達が農家などにホームステイして「暮らし」を体験するセカンドスクール。今年度も豊田市内の小学校の5年生が対象ということでしたが、昨年に続き五ヶ丘小学校と新規に五ヶ丘東小学校に決まりました。

五ヶ丘小 33人（男子14人 女子19人）

五ヶ丘東小 19人（男子11人 女子8人）

## 五ヶ丘小学校、五ヶ丘東小学校のそれぞれで合同検討会

五ヶ丘小学校と五ヶ丘東小学校の先生方とそれぞれ話し合いをすすめています。小原・旭・稲武の幹事さんは五ヶ丘小学校。足助・下山の幹事さんは五ヶ丘東小学校。地域の特色をもった「セカンドスクール日程表」を検討しました。合計15組でのホームステイ先、地域ごとの体験メニューが示されました。

## 安全で楽しいセカンドスクールを目指して 受入研修会

子どもたちの田舎体験は楽しく感動のあるものとなりましょう。子どもたちをお客様扱いにするのではなく、わが子わが孫のように愛おしい想いで接することが大切です。そのためにも、有意義なホームステイのあり方、安全など心得を学び、病気ケガなど緊急事態への対処・連絡体制な

どをきちんと理解しておく必要があります。

この道30年のベテラン西村文子さんの楽しいトーク、豊田市セカンドスクールホームステイと安全についてのマニュアル、元古瀬間小学校校長の近藤先生からの直接のみなさんへのお話しなど、とても貴重な内容の研修会となっています。



## 交流市民の会

面倒くさい”には、”楽しい”が詰まっている！

「今年は寒さが長かったで、月締めまでに豆蒔いた方がええって」  
この一言で、急遽6月25日に大豆を撒くことになりました。

タタミ1畳分程のほ場に味噌用のフクユタカ、枝豆用の獅子王を蒔きました。

豆が隠れるくらい土を被せ、鳥よけネットで覆って・・・

今日の作業はここまで。



この先は植替えに備えて畑の草取りが続きますが、  
大豆の成長を見守りながらの作業なので 案外ね、楽しみでもあるのです。

## 下山地区

6 / 11 (土) 香恋の里 三河湖ウォークラリー

新緑の雨の中、217組 862名の参加で三河湖ウォークラリーが行われました。

各地のイベントが低調の中、参加者が集まるか心配されましたが、例年どおり多くの方に来ていただき「ホッ」としました。

前日からの雨予報でコースを変えたり、人の配置を変えたりと大変でした。

毎回の度重なる打ち合わせ、数日にわたる準備等 70名ほどのボランティアの方々ご苦労様でした。

前回のアンケートで多数要望のあったゲームを5ヶ所に増やし、子どもたちにも喜んでもらえました。

試飲食のブースについても少ない予算にもかかわらず出店していただき、お客様に満足していただきました。

毎回思うことですが、若いボランティアスタッフが笑顔でお客様に接している姿を見ると「下山っていいところだな～」と感じます。

一度参加してみませんか。

当日お手伝いくださった地域のみなさん、商工会青年部、消防団、下山支所、観光協会会員の方々、本当にご苦労様でした。また来年も・・・



## 稲武地区

6月の終わりから7月にかけて、保存会の方々の尽力もあって、稲武のいろんなところで「源氏ホテル」が見られるようになりました。寒い日が多かった今年はブルーベリーの色づきも例年より遅かったのですが、7月になり稲武のブルーベリー狩りもやっと始まりました。稲武では2か所（「まいにちブルーベリー」と「ブルーベリーのこみち」）でやっていますので、みなさんお出かけください！

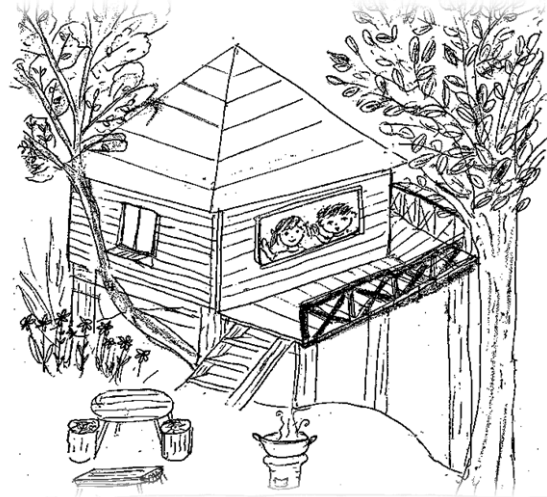
6月11日（土）に山里C y a feで行われたニワトリをしめてさばいて、おいしく食べる食育イベント「命をいただく」。新三河タイムスの記者の方も参加され、先日、同新聞にも掲載されました。また、そのとき、たまたまお茶を飲みに来たお客さんが、私たちもやりたいということで、急遽、翌週18日も同様に開催されました。夏休みの平日に親子対象にもう一度行う予定です。

**お知らせ！** 8月27日（土）稲武交流館であの水谷ミミちゃんが妹弟子の古池鱗林さんと講談と楽しいトークを繰り広げます。時間は午後3時より、入場券は前売り1000円、当日1300円の予定です（主催 NPO法人稲武未来塾）。稲武のような山の中では、こういう生の文化に触れる機会は貴重です！

問合せ先 山里C y a fe 0565-83-3003



## 小原地区



西村農園の暮らしを紡ぐ塾は6月で4期目に入りました。今30人位の方が通っています。近くの方が多いですが、長野や岐阜の方もあり、皆さんとても熱心です。自然に添った暮らしをしたい方、それを業わいとしたい方など色々ですが、小さな農場の営みが皆さんの交流と学習の場になっているのが励みです。小さなツリーハウスもできました。葉っぱの香りや手ざわり、風のそよぎを身近に感じてほしいです。間伐材などを使って、豊田のあちこちに、ツリーハウスが作れるとたのしいなと思います。

西村農園 西村文子

## 足助地区

### みんなでうす暗さの楽しさを満喫！

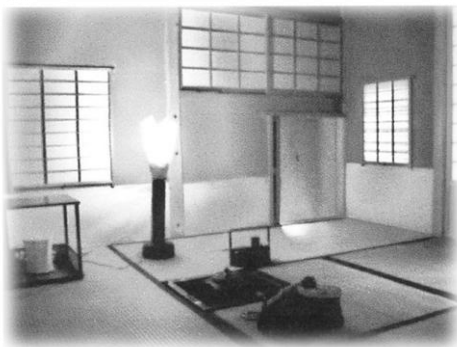
6月25日(土)『うす暗さ文化のススメ』と題したワークショップが開催されました。

この催しは「行き過ぎた今の生活を見直し、自然と生きる暮らしの楽しさを再発見しよう」と企画されました。

当日は、香嵐溪の茶室『助庵』に集まったのは8人と少なめでしたが、お話しが始まる頃には梅雨の終わりを告げる夕立もやって来て、涼やかな中で夕暮れ茶会が始まりました。

行灯ひとつの四畳半の中で抹茶を戴いた参加者は、茶道の作法のことや今の明るすぎる生活のことをそれぞれに話し合いました。時の経つにつれてほかに増す夕闇の中で、場所を変えたり角度を変えたりしながらそれでも「けっこう見える」ことや「外の景色が緑からモノトーンに変わる時」をゆっくりと体験しました。その後、車で5分ほどの所にある山の中にある田んぼに移動し、ゲンジボタルを鑑賞しました。やわらかな光で点滅するホタルが闇の中で乱舞する姿を見た参加者は「こんなにも沢山のホタルを見たのは初めて」と童心に帰っていました。

参加者のひとり「電気を消しても結構物がみえることや空が意外に明るいことを知りました。帰ってこれからの生活を考え直したい」と話していました。



## 旭地区

○全国一斉「きらめ樹スパーク!!」in とよたの森

ちょっと長い名前ですが、短く表現すると「きらめ樹間伐」。《「きらめ樹」を広めようプロジェクト愛知》の皆さんの主催で、6月26日（日）豊田市太田町の山林で実施されました。

「きらめ樹」は、NPO森の蘇りが薦める、木の皮を剥ぎ、立ち木のまま乾燥させ、山から木を切り出す方法です。当日は15名の参加がありました。子ども連れのご家族も2組。「倒れた木の上には乗らない。滑るよ。」など山を移動する時の注意を聞いて入山。神酒、塩、洗米でお清めをして、主催者の方から、皮の剥ぎ方の説明を聞きました。のこぎりで皮を切った後、上に向かって皮を引っ張ると面白いようにきれいに剥けます。剥けた後の真っ白な木肌に感動しました。子どもたちも真剣な眼差しで取り組んでいました。このままにしておくことや乾燥し、その後切り出して用材として使用します。

「自然に乾燥させ、とってもエコな方法です。」「巻き枯らしという方法もあるが、これは、ただ枯らすだけ、きらめ樹は、用材として役立つ所が違います。」「乾燥した後切り出すので、とっても軽くなり、搬出も楽です。」「女の人でも子どもでも手軽にできる方法です。」「ただ、夏場しかできません。」そんな説明や会話が交わされよい体験となりました。きらきら輝いた子どもたちの眼に、エコで手軽な方法が広がり、すてきな森が蘇ることを期待する一日となりました。



## お知らせ

とよた都市農山村交流ネットワーク 会費納入のお願いです。振込用紙を同封しますので、会費納入をお願いいたします。尚、行き違いにより、すでに納入されている方については、破棄願います。今後とも、よろしくお願いいたします。

とよた都市農山村交流ネットワークでは会員を募集しています。

農林業体験希望者を受け入れてもいいかなあ。花木や昆虫のことなら聞いて！

農業はダメだと料理は自信があるわ。農家で泊めてあげるよ。炭焼きならできるんだけど…。

などなど、体験の受入れをしていただける方、お手伝いをしていただける方はご連絡下さい。

都市部の方でもOKです。いろいろな協力をお願いします。皆で一緒に楽しみましょう。

